

宮城県慶長使節船ミュージアム サン・ファン館 館長

ひらかわ あらた 平川 新

未来への航路

ビスカイノはなぜスペイン語地名を付けたのか

スペイン国王を補佐し、中南米やアジアの植民地を統括するのがメキシコ副王です。その副王に派遣されてきたのがスペイン人探検家のセバステアーン・ビスカイノでした。彼の主な使命は、徳川家康が求めていたメキシコとの間の太平洋横断貿易の交渉でした。その一環として家康の許可をつけ、マニラからメキシコに向かうラニラ・ガレオン船の寄港地を探するために仙台領の港湾調査を実施したのです。

③1 ビスカイノの野望

ビスカイノは、寄港地候補になる入江をいくつも見つけました。政宗もビスカイノから良港ありという報告をうけていますから、スペイン船の来航と貿易実現の可能性に期待したことでしょう。おもしろいことにビスカイノは、良港のある入江の村にスペイン語地名を付けています。政宗は、ビスカイノがそんなことをしていたとは知りません。

スペイン国王の支配下に入ると考えていました。それでスペイン語地名を付けたのです。恐ろしい考え方ですね。でも、それは本当か？と疑問に思う読者もいるでしょうから、根拠を説明しておきます。②「国王や自分の名前を記した文書と一緒にコインを入れたガラス瓶を埋める」。紙の文書だけでなく風化してしまいがちな、劣化したコインを密閉したガラス瓶に入れて、目印のあるわかりやすい場所に埋めていました。コインはその国を象徴したのです。探検家として有名なイギリスのキャプテン・クックは到達した太平洋の島々にイギリスのコインを埋めていました。帰国後にここにコインを埋めたのかを航海記で公表し、イギリスによる領有権の根拠にしています。

レストランの店名や公園名にしたということもあつたようです。ビスカイノが愛着をもつたからスペイン語地名を付けてくれた、という受けとめ方だったのでしょうか。ところがビスカイノの考えは、そんな甘いものではありません。大航海時代に海外進出をしたヨーロッパ人たちは、支配下においた地域の領有権を主張するために自国の言語で地名をつけていたのです。

この時期の日本はスペインの支配下に入っておりませんが、ビスカイノはいずれ日本は聖人の名前などを付けている。到達した土地に国王やキリスト教の名前などを付けた。①「自国語の地名を付ける」。到達した土地に国王やキリスト教の名前などを付けた。②「国王や自分の名前を記した文書と一緒にコインを入れたガラス瓶を埋める」。紙の文書だけでなく風化してしまいがちな、劣化したコインを密閉したガラス瓶に入れて、目印のあるわかりやすい場所に埋めていました。コインはその国を象徴したのです。探検家として有名なイギリスのキャプテン・クックは到達した太平洋の島々にイギリスのコインを埋めていました。帰国後にここにコインを埋めたのかを航海記で公表し、イギリスによる領有権の根拠にしています。

表 スペイン語地名と由来

浜名	スペイン語地名(由来)
小竹浜(牡鹿半島)	サンタ・マルガリータ(カトリックの聖人)
月浦(同)	サン・フェリペ(イエス・キリストの弟子、殉教者)
小淵浜(同)	マグダレーナ(イエスの弟子マグダラのマリア、聖人)
石浜(女川)	サン・アントン(カトリックの聖人)
水浜(雄勝湾)	サン・ディエゴ(カトリックの聖人ディエゴ・デ・アルカラ)
分浜(同)	サント・ドミンゴ(カトリックの聖人)
雄勝(同)	レムス(ローマ神話の人物?)
大島(気仙沼湾)	サンタ・カタリナ島(カトリックの聖人)
気仙沼湾	サン・イレフォンソ(San Ildefonso か)(カトリックの聖人)
	サン・ロレンソ(カトリックの聖人)
	サン・フランシスコ(カトリックの聖人)
	サン・セバステアーン(カトリックの聖人)

(由来)の人名は定かではないものもある



ビスカイノが付けたスペイン語地名



ひらかわ・あらた 昭和25年、福岡県出身。東北大学名誉教授。東北大学災害科学国際研究所の所長などを経て、平成26―31年度まで宮城学院女子大学学長を務めた。専門は日本近世史、歴史資料保全学。令和4年4月に、3代目のサン・ファン館館長に就任した。